



前期人権同和教育月間始まる

6月11日（金）より、前期人権同和教育月間が始まりました。月間中には、1・2学年ではワークショップ、エンカウンターを中心に学習し、3年は水平社運動・日野覚醒会について学びます。月間が始まるにあたり、校長講話が行われました。

～ 学ぶこと そして 行動に移すこと（6/11校長講話）～

1 一人一人の色

職員室前の廊下には人権ポスターが掲示されています。どの作品も人権について「あなたはどうか？」と問いかけているように感じます。そのなかの一枚。2年 A さんの作品です。タイトルは「一人一人の色」。皆さんはこのポスターからどんなことを感じますか？色鉛筆には、色の違いがあります。長さの違いもあります。違いがあっていいじゃないですかね。違いがあるからこいいんです。いろいろな色がなかったら素敵な絵は描けません。またどっちの色がいいかなんて比べることもできません。人も同じ。小さい人もいれば大きい人もいます。顔のカタチも性格もみんな違う。人それぞれ個性があってそれがいい。この作品からは、そんな大切なメッセージが伝わってきます。A さんの作品から次の二人の言葉を思い起こしました。



「私にできてあなたにはできないこともあり、あなたにできて私にはできないこともあります。だから、ともに力を合わせれば、素晴らしいことができるのです」（マザー・テレサ）



みんなちがって みんないい

（「わたしと小鳥と鈴と」 金子みすず）

私たちは、とかく、自分とは違う人、ちょっと変わっているなどと思う人をいじる。ばかにする、仲間外しにしようとするところがあります。校長先生にもそういった心の弱さがあると感じることがあります。教室や部活動など、皆さんの回りでそんなことはないでしょうか？

2 高校野球部で「いじめや暴力」

これは数年前の北信地域のある高校の記事です。（範読）新聞にはどんないじめがあったと記されているでしょうか。

□□高野球部で「いじめや暴力」
北信予選 出場辞退

□□高校は27日までに、「野球部員同士でいじめや暴力と言われても申し開きできない事例があった」として、28日に始まる春季北信越高校野球県大会北信地区予選への出場を辞退すると県高野連北信支部に届け出た。

同校によると、21日の練習後、グラウンドで3年生3人、2年生2人の計5人の部員が3年生部員1人を追いかけて回した。その後、グラウンド隅に積まれた整備用の土のくぼみに倒し、体に砂をかけたという。被害にあった部員にけがはなかった。その場に監督や部長はいなかった。

翌日、グラウンドでの様子を見ていた他の部員が監督に報告。5人に事情を聞いたところ事実関係を認めた。△△校長は、指導の責任を取って監督と部長の交代を決めたとし、「指導に足りない部分があった。5人に指導をしていきたい」と話した。

（H28.4.28 信毎より抜粋）

- ・追いかけて回す。
- ・グラウンドの土のくぼみに倒す。
- ・体に砂をかける。

ふざけてやったんだと言えばその程度かもしれません。ちょっとしたこと、軽いことと考えがちです。しかし、高校はこのことを大変重く受け止めて試合への出場を辞退するという内容です。

私が注目したいのは、次の日に、グラウンドでの様子を見ていた他の部員が先生に報告した、というところ。この場面を見ていた生徒たちはものすごく大きな心の揺れがあったと思います。同じ部の中でこの先うまくチームとしてやっていけるのだろうか？先生に言えば今度は自分がターゲットになりはしないか？そういった心の葛藤や怖さを乗り越えて、次の日には行動に移している。みんなからばかにされ、倒され、砂をかけられたことに対して、その場で一緒になって笑っているか（周りに流される）、見て見ぬふりをしているか、分かっているけど何もしない自分であるのか…。もしそうであるなら、いじめを認めていること、いじめをしていることと同じだと、そう思います。

3 人権感覚は学ぶことで磨かれる。そして行動できる自分になろう。

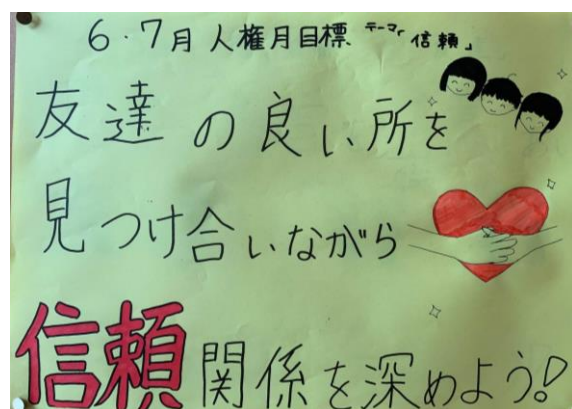
人権についての学習は命の学習です。人権感覚、それは心の中の鏡です。鏡は磨かないと曇ります。磨くということは“学ぶ”ということです。何がいじめなのか、相手の気持ちはどうなのか？自分自身はどうなのか？学ばないとどんどん鈍ってしまいます。学ぶことで心のプレーキは強くなり気づきも深くなります。ところが、どんなに学んで頭で理解しても人の命や幸せを守ることはできません。人権教育が本当に理解できたかどうかは、自分の身近なところで人権の侵害（いじめや差別、「うざい」「きもい」などの陰口、無視、物かくし、仲間はずし、SNS上での悪口など）があった時、“行動や実践に移せる”かどうかにかかっています。おかしいことはおかしいと言える、先ほどの生徒のように何かしらの声にする、誰かに相談するなどの行動に移す、実践する。そんな力をつけてほしいと願います。

4 相談すること SOSを出すこと

いじめを防ぐために国会でも話し合いが行われ、2013年に法律が作られました。文科省の調査では、いじめの内容で「冷やかしかからかい、悪口やおどし文句、いやなことを言われる」が最も多くを占めています。遊びのなかにいじめの芽があるのかもしれません。

悩みは、ことばにした瞬間、小さくなる（ポスター提示）

何か心配なことがあったら、友だちに、又は担任の先生をはじめ保健室の先生や教頭先生、校長先生に、またスクールカウンセラーの先生などに相談して下さい。



<人権委員会ポスター>

5月26日(水)シャクヤクが贈呈されました！

中野市農協シャクヤク部会の皆様が来校され、艶やかなシャクヤクを贈呈していただきました。いただいたシャクヤクは生徒昇降口に飾り、全校生徒に見てもらいました。



非違行為防止研修の取り組み

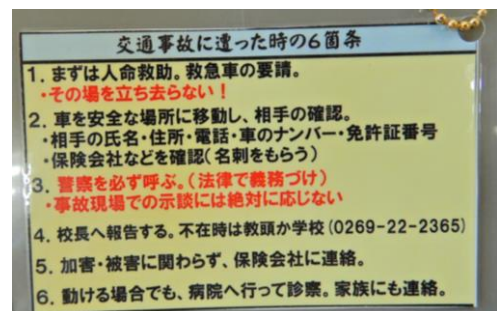
南宮中学校では、毎月、主に職員会議の中で、非違行為防止研修を行っています。

5月12日(水)の職員会議では、「交通事故に会った時の対応と飲酒運転撲滅」について研修をしました。一人ひとりが事故後の対応を書き出し、それを校務支援システム上で各自の考えを共有しました。

そして、先生方から出された考えをもとにして、右のようなカードを作り、「お守り」代わりに全職員が持ち、車中に入れておくようにしました。

また、カードの裏面には「飲酒運転撲滅宣言」を載せ、絶対に飲酒運転をしないことを確認しました。

これからも、安全運転を心がけていきたいです。この他にも、体罰防止や生徒への「性的行為」の根絶などについても研修に取り組んでいます。



~~~~ お知らせ ~~~~

◆ 新型コロナウイルス感染症への対応に伴う 行事の変更について ◆

○2年登山は、期日と目的地を変更します。

・期日：7月15日(木)・16日(金) *19日(月) 2年計画休

・目的地：志賀高原方面 宿泊施設：ホテル一乃瀬

○3年修学旅行は、宿泊数と目的地を変更します。

・期日：8月25日(水)・26日(木) 1泊2日 *27日(金) 3年計画休

・目的地：白馬・安曇野・黒部ダム方面 宿泊施設：グリーンプラザ白馬

生徒会活動が活発！

下の生徒会新聞にもあるように、各委員会の取組が盛んになってきました。特に、3年生が積極的にリードしてくれています。毎週金曜日の「生徒会ニュース」でも、全校に呼びかけ、先日は『eye さつ』（挨拶）の取組について発表がありました。コロナ禍だからこそ、相手の目を見て挨拶をすることで、相手にしっかりと気持ちを伝えようという呼びかけでした。

また各委員会の活動の目的や方法について丁寧に説明することで、意識の向上を図っています。**牛乳パック回収（毎週火曜日）**や**アルミ缶回収（毎週水・木曜日）**など、引き続きご家庭でもご協力をお願いします。

15日からは、前期交流清掃が始まりました。今後は、壮行会や歌声聴会が予定されています。

生徒会新聞 6月号 R3 6月4日 本学生会

～eye さつ～

日常でのあいさつのキーワード。それは「eye さつ」です。「eye さつ」を大切にしたいと思います。

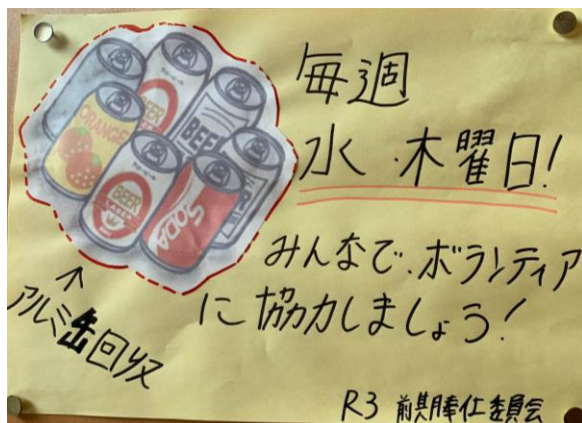
「eye さつ」とは、このコロナ禍で大きな声が出せない中、目(eye)を見て、挨拶をするということです。目を見ることで、相手にしっかりと気持ちを伝えることができます。皆さんも、相手の目を見て「eye さつ」をしていきましょう！

本学生会からの新たな取り組みである、「eye さつ」、皆さんしっかりできていますか？相手の目を見れば自分の気持ちがより相手に伝わります！積極的に eye さつをしていきましょう！

今日は壮行会や歌声聴会があります。一年生は初めてですが、ひとりひとり精一杯頑張らしましょう！

放送委員会：リクエスト曲
奉仕委員会：クラス目標人数強化月間 6月中
厚生委員会：牛乳パック回収強化月間 6月中
保健委員会：歯磨き・フッ素強化週間 7日～11日
生活委員会：あいさつ向上週間 14日～18日
図書委員会：リクエスト週間 21日～26日
人権委員会：人権週間 21日～7月2日

アルミ缶回収(5月) 牛乳パック回収(5月)
全校:618人 全校:445人



アルミ缶回収ポスター(奉仕)



サルビア苗植え(緑化)